

登山学校

第19期登山学校『天気に見方』2014/11/2実技講座 3班 庄司奈々枝 記

ほぼ予定通りに観光案内センターに到着し、準備運動を終え、早速空を見上げてみました。頭上には、巻層雲が見られ、太陽の周りには、日暈が現れていました。前橋方面の下の方には層積雲があり、これが上がってきて、夕方には雨になるかもしれないとのことでした。

10:05 出発 白樺牧場の白樺を眺めながら、車道わきを歩くこと5分、鈴ヶ岳登山口へ。腰近くまである熊笹の道を登り、小さなピークへ。

西側前橋方面の下方に雲海が広がり、その向こうには山並みが見える。

熊笹で足元が見えずらく、木の根や落ち葉で滑りやすい道を注意深く進む。

10:48 鍬柄峠到着 西の山の向こうには、乱層雲が見られる。この辺りに来ると熊笹の丈が低くなり足元は見えやすくなる。

11:12 鍬柄山到着 東には、大沼とその向こうに黒檜山や、遠くには榛名山が見える。ここから一度下りとなるが、岩場で幅が狭く急なため、時々渋滞となる。標高1562mから1433mへ下りる。

11:44 鈴ヶ岳を仰ぎ見ると、その名の通り、鈴の形をしている。この辺りでは、西からの風が吹く。

12:00 鈴ヶ岳到着 ここでは、巻層雲の下に高層雲が見られる。

山頂は狭く、他の団体が昼食をとっていたため、下山して昼食をとる。

12:50 到着。

13:18 出発。 食後の鍬柄山への登りはきつく、やはり食事は山頂で取り、食後は下山が良いようです。帰りは、西側の雲海が行きよりも上がってきており、対岸の山が見えづらくなっていました。

鈴ヶ岳登山口へ、14:31到着

昨年は雨模様で全く観察ができなかった様ですし、19期の私たちも毎月実技講習の時雨に見舞われていましたので、今回は何種類もの雲を見ることができとてもラッキーでした。

観天望気は、雲の種類を判断するだけでなく、低気圧や前線の事などいろいろな基礎知識も必要で難しいので、まず、お役立ち集から覚えていこうかと思えます。

